

シゴト小学校 体験プログラム コンテンツ企画

講師氏名	原 幸司
職業	保険代理業

タイトル 保険でみんなの生活を守るんだ

保険が私たちの生活を支えていることを感じられる経験をする。

所要時間：40分

解説

【所要時間：40分】

- 自己紹介
- 仕事の説明

<ポイント>

- ・保険を身近なものと感じてもらうために軽微な自動車事故を想像する
- ・東日本大震災から復旧に対する経済的負担の大きさを感じてもらう
- ・相互扶助の精神が重要であることを考えてもらう

体験

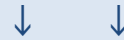
【所要時間：35分】

<手順>

- ①自己紹介
- ②子どもたちの日常生活の中にある判りやすいリスクを雑談の中から引き出す。
- ③子どもの日常にあるリスクを想像できるよう誘導する。
- ④東日本大震災の映像を見せ（映像種類に注意）自分がこの日改に合ったら何が困るかを想像させる。
- ⑤様々なリスクや災害に遭い困ったことを解決するためにすべきことを考えさせる。
- ⑥配布した100円をストラップが被災した子どもに寄付することで相互扶助を体験する。

【企画】

- 仕事の中で大事にしていること
 - ・困っている人を、多くの人で助けることができる仕組みが保険であることを忘れない。



- メインとなる“思考” = 体験ワーク
 - ・想像することへの誘導
 - ・お母さんが車を壁にぶつけたら修理代が幾らかかるのか？
 - ・東日本大震災で人々は何に困ったのか？
 - ・東北地方が復興するためには何が必要なのか？
 - ・保険料支払から保険金支払までをストラップと小銭で体験

- 準備物
 - ・ストラップ・100円玉
 - ・映像（震災等）

まとめ

【所要時間：5分】

- 発表：体験したことと体験をもとにして想像したことを、再度発言させることで、その体験を確かな記憶とした。